

## 樹脂系薄層舗装工 作業手順

	内 容	留 意 事 項
<div data-bbox="18 192 191 264" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">準備工</div>	作業打ち合わせ(KY活動) 作業内容、人員の確認 保護具の点検 使用機械、資材、工具の点検 施工条件の確認	安全ミーティング日報による 指示書の内容確認  同時に複数の施工箇所がある場合はそれぞれの施工箇所ですした防護の方法を確認。
<div data-bbox="18 562 191 634" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">施工</div>	樹脂系薄層舗装の施工 ①樹脂の塗布 均一になるようにレーキにて塗布する (塗布量は1㎡あたり1.6kgとする) ②骨材の散布 樹脂塗布後、速やかにスコップにて均一に塗布する。 (塗布量は1㎡あたり6.5kgとする) ③養生 ④余剰骨材の回収 バインダーの硬化後、散布された骨材の余剰分を竹箒や押し式のスイーパーで余剰骨材が残らないように回収する。 ⑤トップコートの塗布 余剰骨材回収後アクリル樹脂系塗料をエアレススプレーにて均一に散布します。 (塗布量は1㎡あたり0.4kgとする。)	・作業後方には追突緩衝装置付防護車を設置 作業箇所の安全確保した後、作業する。 また、現場保安員はしらすんだ一等を使用し、車両突入等の緊急時には速やかに現場作業員に退避行動がとれるよう合図をおくる。  テーパー部100mコーン設置し待機 ラバコーン設置時は、通行車両に注意しながら設置を行う。 交通監視員は、注意喚起を行う際には通行車両に誤解を与えないように行う。 施工終了箇所までラバコーン設置 通行車両が安全に通行できる範囲で施工する。 作業班と打合せを行い規制区間を決める。  十分に乾燥していない箇所には施工しない。 気温5℃以下、湿度85%以上の場合には、施工しない。 作業中に降雨及び気配のある場合には、直ちに作業を中止する。
<div data-bbox="18 1116 191 1188" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">後片付け</div>	樹脂が完全硬化しているか、確認して退出する。  終礼の実施	使用した道具、材料等忘れ物が無いように確認する。  安全ミーティング日報による

## 注意事項

特殊な規制順序になるため、事前にしっかりミーティングを行い作業を行う。  
 誤進入をさせないよう考えられる準備をしっかりと行う。  
 誤進入があった場合、安全に流出出来るよう合図をしっかりと行う。  
 施工は、可能な限り正対で行うように作業手順を考える。  
 複数の施工箇所がある場合は各々の施工場所での防護を行う。  
 移動前に積載物の落下防止対策を実施し、複数人で確認する。  
 車両を後退させる際は誘導員と打合せ実施後移動する。